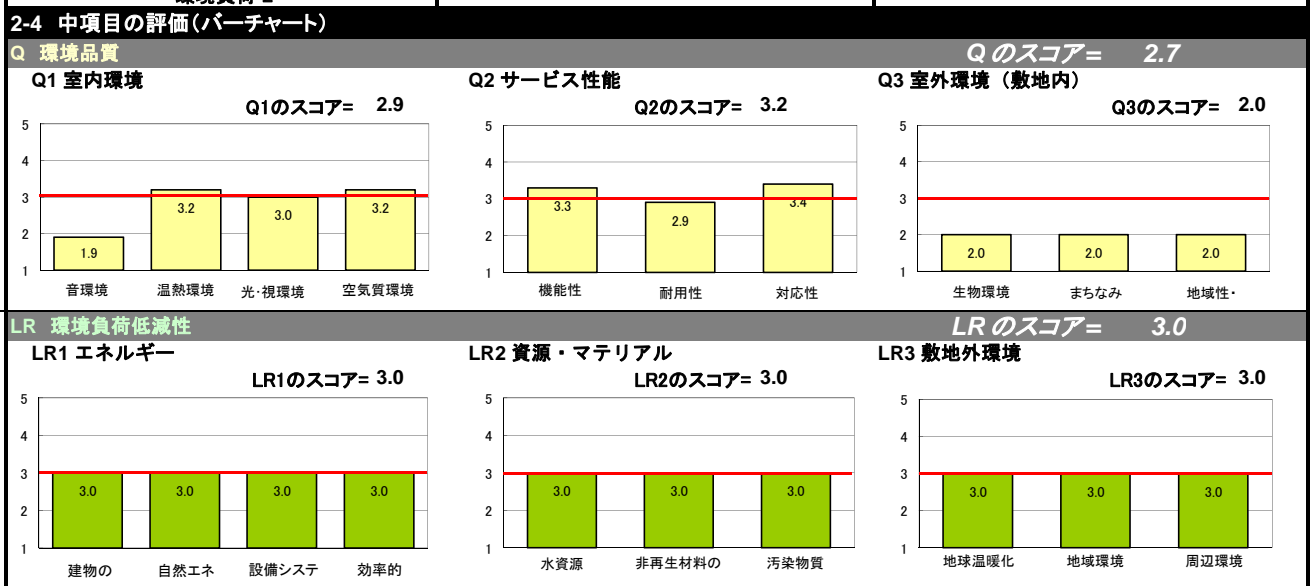
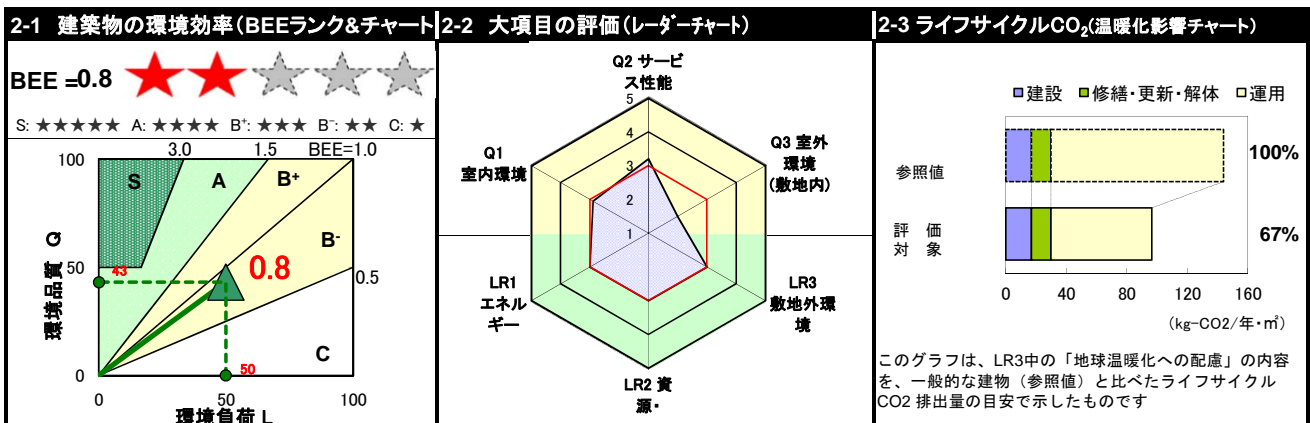


# CASBEE® 新築[簡易版] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)コストホールセール 八幡倉庫店	階数	地上 2F
建設地	京都府八幡市欽明台北五番地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,825,000 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年10月20日
敷地面積	20,961 m <sup>2</sup>	作成者	今西良一
建築面積	14,374 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	27,225 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>倉庫店という店舗名称からも、経済的合理性が重要なコンセプトになっている建築物である。全体から細部にわたり汎用品を採用し、シンプルなディテールを基本に設計されている。安全には配慮しながらも、仕上の範囲を最小限にとどめ、無駄のない設計を目指している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>コストコ倉庫店のモデルの特徴の一つでもあるが、物販店舗でありながら荷捌きスペースを必要な最小限にとどめ、生産性のない商品のストックヤードを平面的に配置せず、効率的な空間利用を行なっている。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>店舗の出入口を1箇所に集約し、ガラス窓等の開口部を設けず、外部の熱負荷を最小限にとどめている。その上で、断熱性能の高い外壁材料を選択し、効率の良い空調システムを採用している。また、照明器具も</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>すべての店舗エリアを1階に配置して、段差のない安全でわかりやすい店舗計画となっている。来店者のみならず、従業員の障害者にとっても利用しやすい施設となっている。また、機械的設備に頼ることなく、集約</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>電気エネルギーとガスエネルギー併用としたベストミックス方式を採用。</p> <p>空調機器は高効率型インバーター機種を採用。又、中間期及び初冬期は外気冷房を行う。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>再生品を含め、汎用性の高い材料と高性能で効率の良い材料をバランスよく選択する。また、一般的な「グリーン調達品目」や「エコマーク」を取得した経済的な材料も積極的に採用する。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>運用上必要な部分のみを舗装とし、それ以外をできるだけ緑化に努め、植栽を施している。機械置場も基礎以外の部分を再生砕石敷きとして、雨水の浸透排水に努めている。</p> <p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>自主的な厨房排水に除害設備を導入したり、分別可能な廃棄物置場の設置により、周辺インフラへの影響を抑制する計画とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される